

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 54 号
R1. 6. 25

雨でもやっつてみよう運動会



雨の運動会は、半世紀ぶりの経験だ。予備日にあたる29日も雨模様で、しかも一週間は連続の雨と来た。ついには週末台風の恐れもあるとの予報で、誰が運動会を延期できようか。もう、こうなればやるしかない。自然には逆らえない。22世紀羽地大スタジアムがあれば別だが、羽地中体育館でやるしかない。学級対抗リレーなどの走る競技はコートがきつく、安全上、採用できない。準備で開始時間を後ろに延ばすため、PTA種目は力ツト、プログラムは演技種目のみで実施することとした。

二階とフロア周辺を観客席として設定、正面を舞台側と中庭側の2場面に設定、送・進行・音響をセット。アナウンス、来賓席は舞台。開会式は9時半とした。

昼食時は体育館、校舎エントランス等を解放、エイサーは着替えのため午後のプログラムへ。

雨と人の熱気で体育館は蒸し暑かったが、入場行進は、誰もが足と手をそろえて、見事な行進ができた。続くハッピーダンスは体育館では狭く、円陣でのダンスは出来なかったが、精一杯踊ることができた。1年生もよく覚えていた。

学年トップの演技は2年生の栄光の羽地大橋だ。リハーサルは、どの学級も同じタイムであったが、本番では、それ以上の早さだった。足の回転を早くし、接着面の負担を最小限に抑えての走法は効果があつたか？さては、リハーサルでは抑えたと感じた。

炎絆 輝



1年生は5色綱引きだ。5本の綱の中、3本以上を自分達の陣地の引っ張れば勝ちとなる。3本の綱取りにどういう人数配置にするか、作戦を組み立てることも大事だが、空いている綱を瞬時に判断して自陣に引き込むかの心理戦でもある。やはり、司令塔のリダーとチームワークが必要であろう。

勝敗は1年1組に軍配が上がったが、どの学級も体育館で元気にいっぱい綱引きを楽しんでいた。

午前中最後の種目は、3年生のフォークダンスだ。20年前は男女で手をつなぐことさえ恥ずかしくてできなかった種目だが、この種目がなくなる理由、それは思春期



だからだ。今年の男女比率は、女子が極端に少なく、男子の半分であるので、男女ペアに限らなくても良いが、やはりフォークダンスは男女ペアと昔から決まっている。だから、よほどの潔癖症か恥ずかしさから手をつながない男子もいる。手汗で不愉快な思いをさせたくないと考える女子もいる。いろいろあるが、人数不足なら2回踊っちゃおうという方法も大変良い。3人組での入退場は綺麗でした。踊りたいお母さん達もいっぱいいたかもね。